

# 日程 平成 30 年 1 月 27 日~28 日（東北）蔵王樹氷帯スノーシュー山行

1/27 山形駅＝蔵王温泉 BT＝宿舎－鳴の谷地沼－宿舎/竜山荘(泊)

1/28 竜山荘＝蔵王ロープウェイ山麓線山頂駅－地蔵岳－熊野岳－地蔵岳－蔵王ロープウェイ山麓線  
＝蔵王温泉 BT＝山形駅

1/27

撮影者 笠原



## ←01 除雪の雪壁を崩してとりつく

山形新幹線が大きく遅延したこともあり、宿舎からほど近い鳴の谷地沼を思いつく。1m を超える除雪壁を崩してとりついた。



## 02 貸切状態→

全く誰も入っておらず、もふもふの雪をふみしめて真っ白な静かな森の沼周りを貸切状態で歩く。



## ←03 ラッセルは交代で

雪が多くスノーシューを履いても膝まで埋まる状態。交代でラッセルしながら景色を楽しみつつ歩く。



## 04 雪の森→

夏であれば一周小一時間弱だが、貸切の静かな森の道が我々だけの足跡をつけてゆっくと楽しんだ。新雪の感触やヒップソリ、冬芽なども観察しました



## ←05 鳴の谷地沼一周↓

新幹線の遅延で思いついた沼一周でしたが、思いの外楽しむことが出来ました。





←06 樹氷原に行く

朝一番のロープウェイで乗り込む。ここ数日天候が悪かったせいか誰の踏み跡も無い真っ新な雪を踏んで樹氷原へと踏み出した。



07 エビの尻尾が旗のように→

太陽と共に青空が広がり神々しいほどの風景。目印の棒標に付いたエビの尻尾がもはや旗のようになっている。



←08 地藏岳山頂

まずは地藏岳を踏む。雪の白と空の青の対比が美しい。風は強いが天気は良く、眺望も楽しめた。



09 熊野岳山頂→

何もかもがスノーモンスターと化している。熊野岳頂上の祠ももはや巨大な雪のオブジェの様だ。



←10 それぞれのトレースで

熊野岳頂上からは視界も良く、それぞれのトレースで登山道へ直下降で降りた。雪のスノーシュー山行の醍醐味でもある。



11 お地藏さんも寒そう→

雪に埋まったお地藏さんも寒そう。名物?! のスキーを履いたお賽銭箱もありました。最後に樹氷原をバックに集合写真を撮りロープウェイに乗り込んだ。